

教育目標「じょうぶな体 きれいな心 かいっぱい 精いっぱい」



かやの木

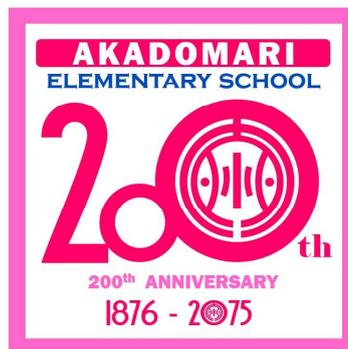
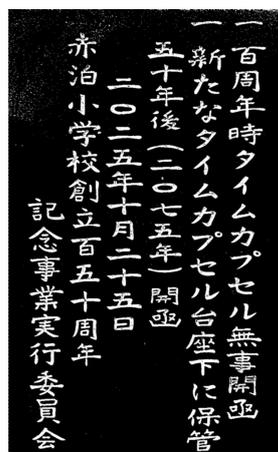
新潟県佐渡市立
赤泊小学校
学校だより
令和8年2月2日発行
No.339

子を思う親の心

校長 土屋 雅朗

寒いが続いていますが、本校の校舎内は「床暖房」のおかげで快適に教育活動が展開されています。未来を託す子どもたちのために設置していただいた旧赤泊村の関係各位にこの温もりを感じる度に感謝の気持ちを改めて感じています。

さて、昨年10月に実施した創立150周年記念行事で創立100周年時のタイムカプセルが50年ぶりに無事開函されました。そして、そのカプセルを再利用し、次の50年へと新たにタイムカプセルを保管することとなりました。開函は、2075年になります。そのカプセルの中に、児童は「50年後の自分に向けた手紙」保護者は「50年後のわが子に向けた手紙」を入れることに決めました。児童は将来の夢や未来の自分に聞いてみたいことなど自由な発想で記述していました。



私は、ある保護者の方から許可をいただき、50年後のわが子に向けた手紙を拝読させていただきました。詳細には触れませんが、そこには、生涯を閉じられている前提での記述がありました。わが子の幸せを願い、自立し、他者とともによりよく生きてほしいという親の切なる願いが込められていました。心に深く響き、胸が打たれる思いがしました。私は母親を亡くしていますが、もし自分にもこのようなメッセージが残っていたらと想像すると目頭が熱くなりました。

50年後は1年生が57歳、6年生が62歳。平均寿命もどんどん延びていくものと思います。そう考えるとまだまだ働き盛りの年齢かと推察されます。そのような年齢時に「子を思う親の心」に再び触れてもらえたらと思っています…

次頁「令和8年度 赤泊小学校基本ガイド」
ご家庭で掲示するなどしてご活用ください。